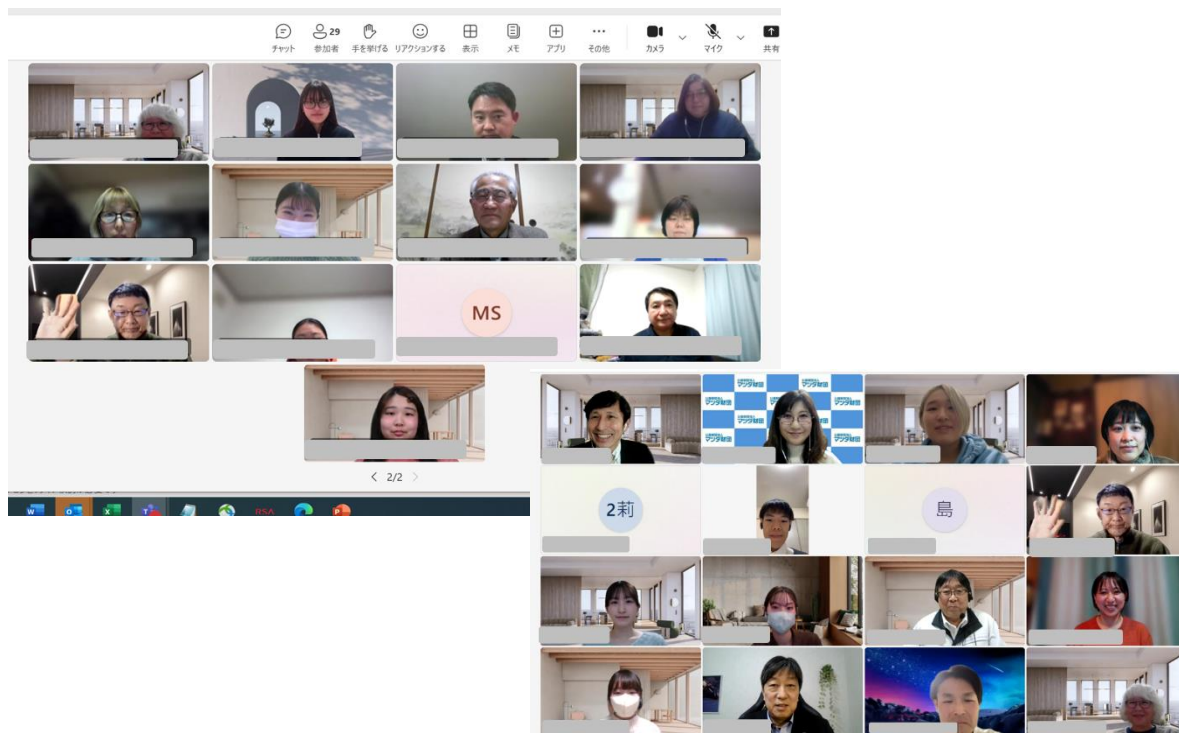


若ツナサミット実施報告

2025年2月3日(月)の19:00から20:30に、第4回若ツナサミットをオンラインで開催しました。



「若者×ツナグバ」は、若者が、今の社会に希望を持ち、自立していくことを支援する事業です。そして、この「若ツナサミット」は、その目的のために、若者×ツナグバに参加した2団体の成果報告会を兼ねて、参加する若者たちと意見交換する場です。

参加者は、今年度の支援 団体 8 名(「enjoy spielplatz (エンジョイ シュピールプラッツ)」2名、「CROSS BUILD (くろすびるど)」6名)、アドバイザーやOG、若者を含む一般参加者にマツダ財団を加えた総勢約30名が集いました。

19:00に開始し、まず、最初に参加者全員を紹介し、続いての第一部は今年度参加の2団体による活動成果報告を、次の順番で行いました(発表7分、質疑応答3分)。

- ① enjoy spielplatz (エンジョイ シュピールプラッツ) 広島市東区 大学生団体
<https://mzaidan.mazda.co.jp/wakatsuna/summit/2024/2024summit%20document1%20enjoyspielplatz.pdf>
- ② CROSS BUILD (くろすびるど) 広島市安佐南区 大学生団体
<https://mzaidan.mazda.co.jp/wakatsuna/summit/2024/2024summit%20document2%20crossbuild.pdf>

各団体、今年度の取り組みをまとめたパワーポイントを使って発表しました。その後、質疑応答の時間を設け、各団体、自分たちが日ごろ考えていることや苦労した点、工夫していること、今後の展望などについて活発な質疑応答がなされました。

続いて、第二部の意見交換会に入りました。

テーマは「学生と社会人とでちょこっと話してみませんか？～いろいろな世代の人たちが集える場」。

3つのブレイクアウトルームに分かれて20分程度のグループディスカッションを行いました。リーダー（ファシリテーター）とサブリーダー（書記・発表）は、各団体のメンバーが努めました。最初に、なぜこのテーマを選んだか理由を紹介した後、各ルーム参加者の自己紹介を行い、ディスカッションに入りました。短い時間だったため、十分に意見交換を行うことができなかったルームもあったようですが、学生と社会人が入り交じり色々な意見が出されました。グループディスカッション終了後、全体に戻って、各グループで議論された内容を発表してもらう際には、サブリーダーがきちんとまとめて、発表してくれました。

〈各グループの意見交換の主な内容〉

- ・幅広い世代で集える場について、学生や社会人それぞれの小さい場はたくさんあるが、横つなぎにすることで、もっと交流を増やせるのではないだろうか。地域には公民館が多いが、利用者は年配の方が多い。学生が参加しにくいと感じることもあるが、高齢者、大学生、若い家族など幅広い層を対象としたイベントを開催することで、多世代での交流が可能になる。
- ・若者と違う年代の人との交流の場づくりについて、子どもたちのイベントを企画すると全年代の方が集まるケースが多々ある。どの世代に合わせるのかでニーズが変わるので、目的を設定して「ものづくり」や「スポーツ」などテーマを決めて開催することも大事。若者のニーズも知りたい。
- ・第三の居場所の必要性について、学生は家庭で話せないことを第三のコミュニティの場で、他人だからこそ話すことができることもある。社会人は仕事だけで生きていくことは難しいので、自分の本音を引き出せるような第三の場を設定することは必要。第三の場（サードプレイス）とは、“ななめの関係”で、人と接することができる場所。“ななめの関係”とは、先輩後輩などの縦の関係や友達など横の関係に当てはまらない人たちとの関係を指している。そういった第三の居場所は必要。

意見交換後は、アドバイザー3名の皆さまから若者に対してエールが送られました。

最後に、参加者全員で集合写真を撮影して中締めとしました。

また、今回は、意見交換の時間が短くなったため、時間が許され且つ意見交換の継続を希望

される方には残っていただき、交流を深めました。ここでも活発な意見交換がなされ、気づけば、予定時間の 21:00 を回ったため、後ろ髪をひかれる思いで終了しました。

<主催者感想>

- ・今回の若ツナサミットは、昨年が続いて成果発表と意見交換という目的以外にも参加団体以外の若者や大人との繋がりを期待してオープン開催としました。昨年の 1.5 倍の多くの方にご参加いただき、2 団体の成果発表には、多くの質問が寄せられ、興味深く聞いてくださっていたことが印象的でした。また、参加者の中には、昨年度支援していた団体に今年度から社会人になられたメンバーの方が参加くださっており、OGとして2団体を温かい雰囲気でご包んでくださりながらしっかり、意見交換して下さっている姿に、社会人としての頼もしさを感じました。そして、今年度支援した2団体の皆さんも、きっと同様に成長していかれることと期待感で一杯になりました。
- ・当日を迎えるまで、2団体は、自分たちのみならず、参加して下さる方にも有意義な時間になるよう、何度も打ち合わせを重ね準備していました。今年度の2団体は、学生ばかりの団体で初めて出会った2団体が、若ツナフェスタに続き、若ツナサミットと2つのイベントを協力してやり遂げている姿に、成長を感じました。

次年度に向けて、活動がより一層広がるように、内容の充実を図ってまいりたいと思います。ご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

(本郷)